

# 聴く市政を更に推進



市民との肌ふれあいを大切に  
住民の中に飛び込んでいって、生  
の声を生かそうと対話がすむ。

憲法をくらしの中に生かし

## 市民生活優先の施策を

■はじめに  
戦後初めてといわれる極限的な経済状況下の自治体行財政のなかで、全職員一丸となってこれに当たり諸政策の実行が曲がりなりにも伸展を続け、前市長より引継いだ緊急な事項については大方は終了を見ることができたことを申しあげ、ここに深く感謝申しあげます。

市の行政は、国、県と異なり市民の身近にあり、日常に接し、日々の市民の台所に直結しています。この意味で昨年一年間、市民の誰でも容易に理解できる政治、市民の側に立った、市民の声を行政に反映させる政治を目標にします。国保税も九市の中では七番目と低くなり、ちり袋の無料化、学童予防注射の無料化あるいは学童保育所の実施、西部保育所、日章小学校の新改築、福生永水溝の改修など市民の生活を守り改善するための数々の事業を実施することができました。

政府は五十年年度予算を「安定指

向型で福祉、教育、地方財政に重点を置いた予算」といっています。が、地方交付税は四兆四千八百六十億四千万円と前年に比べ三十三・三割は一応評価されるものの、その反面、公共事業は七・一割減となっており、総需要抑制の部分緩和とは言いながら自治体財政については、公共事業や起債の厳しい抑制を受けるだけでなく超過負担の増大、税収の伸びの鈍化や諸物価の高騰のため破綻に近い状態に迫っています。

## 市民参加の道を開く

■主要課題  
憲法をくらしの中にかし、公正で清潔、ガラス張りの行政を行い、聴く市政、話す市政、そしてそれに応える市政をさらに押しすすめます。

第一に市民参加の市政。対話集会、市長への手紙などのほか、あらゆる機会方法で市民参加の道を開き、市民の意見は卒直に受けとめ市政に反映していく考えです。

また、市民の市政に対する関心を高めるとともに市と市民間の信頼関係をより強固にする考えです。

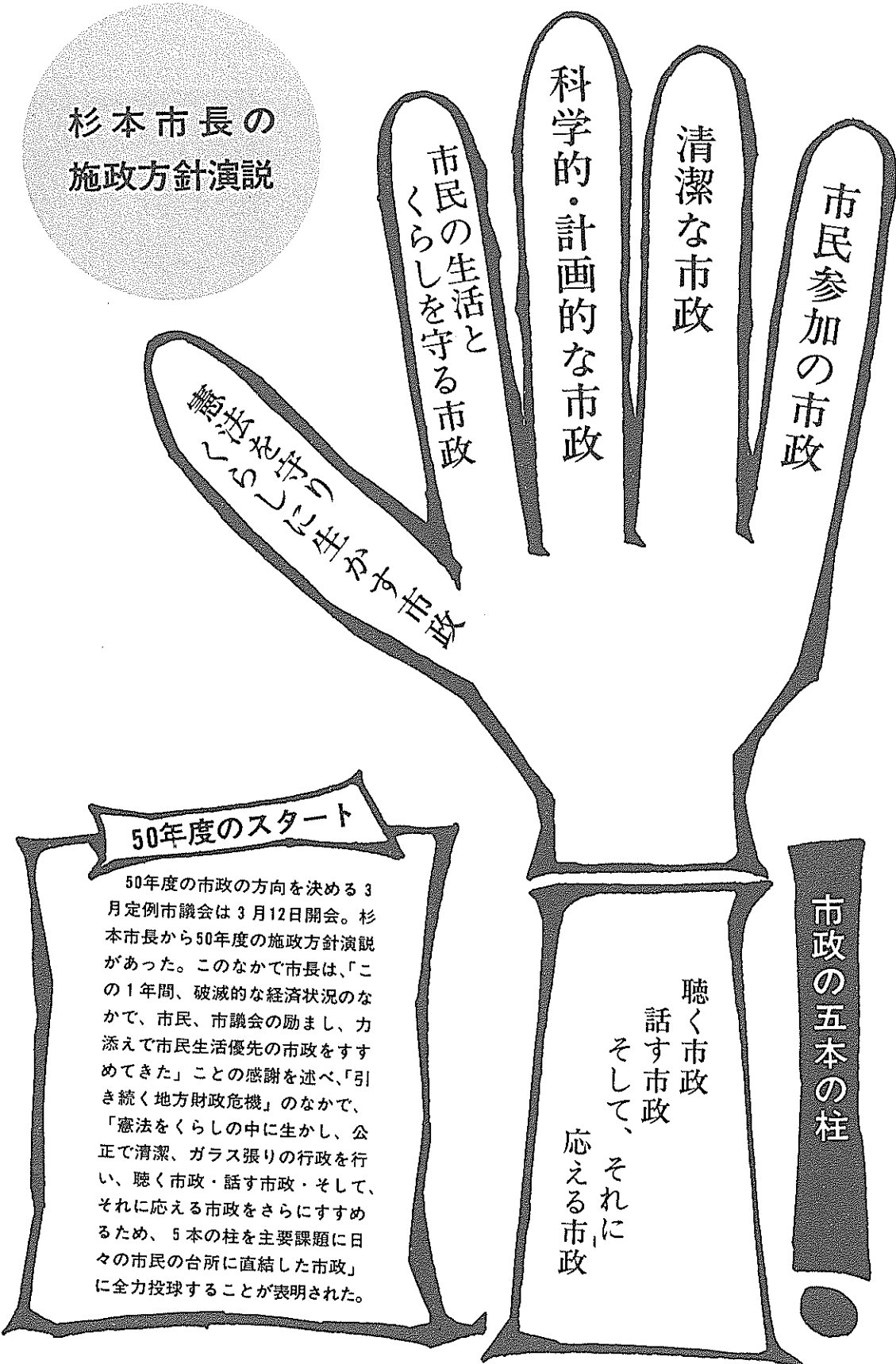
第二に清潔な市政。清潔な市政は市政運営の原則です。そのため公正で民主的な市政を行います。

第三に科学的、計画的市政。緑と光と水を守り、平和で明るい田園文化都市、南国市をつくるために科学的計画的な市政を確立します。

第四に、市民の生命とくらしを守る市政。市民の生命とくらしを守るため最大の努力をします。とくに子どもお年寄り、心身障害者の方々に対しては、心のかよった福祉行政に全力をつくします。

第五に、憲法を守り、くらしにいかす市政。憲法では国民すべての基本的人権を保障しています。私は全市民とともに権利を守り、くらしのなかにいかす市政を推進します。

## 杉本市長の施政方針演説



### 50年度のスタート

50年度の市政の方向を決める3月定例市議会が3月12日開会。杉本市長から50年度の施政方針演説があった。このなかで市長は、「この1年間、破滅的な経済状況のなかで、市民、市議会の励まし、力添えて市民生活優先の市政をすすめてきた」ことの感謝を述べ、「引き続き地方財政危機」のなかで、「憲法をくらしの中に生かし、公正で清潔、ガラス張りの行政を行い、聴く市政・話す市政・そして、それに応える市政をさらにすすめるため、5本の柱を主要課題に日々の市民の台所に直結した市政」に全力投球することが表明された。

### 市政の五本の柱

聴く市政  
話す市政  
そして、それ  
に応える市政

## 基本政策の策定と 実現のために



### 行政機構

今日ほど歴史そのものが急激に複雑に変化している時代はありません。この変化する社会状況の推移とともに行政も高度化、複雑化し多様な住民要求に対応するために科学的、計画的な行政運営をしなければなりません。

しかし現状においては全体的な機構、組織について十分な研究をしないので五十年後は長期的展望にたつた基本政策の策定とその計画的な実現、政策計画に従った民主的財政計画に基づく行政の実現を主要課題としてとりあげ機構改革を行う考えです。

### 専門の人に 調査研究

市民の生活とその環境を守り、その向上を図るため、充分な調査研究を実施し長期的計画を樹立し推進する考えです。

とくに五十年後は南園市振興計画改訂の年でもあり、昨年来実施の「市行財政の分析」にあわせ、人間生活に欠かすことのできない水の問題、合理的土地利用と自然保護、都市計画、産業振興など、それぞれの専門の方々調査研究をしていただき、それをもとに生活と環境を守る計画を策定する考

えて準備を進めています。

公害問題は市民サイドに立ち、いたずらに紛争を招くことなく解決を図り、未然防止に努力します。河川の汚濁防止や不法投棄の防止は、本年度より河川監視員制度を設けます。

チリ袋の無料化は五十年後も引き続いて実施する考えですが無料化は単に金銭的な問題だけでなく、これを通して衛生美化、節約とい

## 血の通った福祉行政

### 福祉

市民の要求を適確に把握し、すべての市民が憲法で保障された「あわせ」を保持できるよう血の通った福祉行政を推進します。福祉行政に要する経費は、とくに超過負担が大きいので国・県に対して負担解消を強く働きかけます。

老人福祉・物質的な面はもとより、人間的な暖い愛の手をさしのべたいと考えています。五十年後は昨年の当初に比べ約五〇割の伸びとなっております。老人福祉年金の改善、医療費の無料化などは研究調査をし方向を見い出します。

児童福祉・従来の交通遺児手当のほか、母子家庭に対し福祉手当を新設、支給し、出生祝金を千円から千五百円に増額。乳幼児の医

う市民社会のモラルを向上させるとに大きな目的があります。市民の自覚により、田園文化都市の名に恥じない美しい街づくりに一歩前進したいと思っています。

し尿処理は広域による一部事務組合も発足したので全力をあげて早期実現に努力します。

予防接種・定期検診・ガン検診などは市民負担を極力少なくし、全額無料を目標に努力します。

療費無料化も老人医療費同様検討します。保育・最高の社会環境の中で育てることができるよう環境の整備を速行ない保育の資質向上に努めます。保育事業の超過負担解消に全力をつくします。少年補導センター・専門指導員を置きます。その他・身障者問題、母子福祉、生活保護などについても密度の濃い行政をすすめます。

### 年次計画 をたてて

### 教育

南国市の小中学校はその大半が老朽危険校舎であり、これを解決するためには多額の費用と努力を必要とします。したがって緊急度

## 困難な財政運営

### 財政

政府は五十年年度予算編成で依然として総需要を抑制し大幅な公共事業の抑制をしています。

地方財政も起債については大幅な規制が加えられています。市でも、学校、保育所、社会福祉施設などの整備や道路をはじめとして上下水道の整備など早急に実施しなければならぬ事業があります。これがこれらはいずれもぼう大な経費を必要とします。これらの経費は市税をはじめ起債や国や県の支出



### 農業動向調査

### 産業振興

経営安定を図るための資金は、国県の制度資金の活用を指導し、国県に対しては制度資金の拡大、新しい制度資金設置、貸付条件の緩和などを強力に働きかけます。

## 奈路中谷線などの改良

### 建設

本年度の計画として、奈路中谷線、前浜岩線、国道小連線、王子中央線などの改良に七千九百五十万円、広域市町村圏整備事業に六千円、その他道路整備に一千八百八十八万九千円、広域農道、上倉地区農道に一千二百四十三万二千円、橋梁関係では二百万円、河川関係では都市周辺水路整備に五百万円、その他河川整備に一千二百万円、急傾斜防災対策に七百三十四万七千円、崖くずれ防災対策に三千七百万円を計上しました。都市計画は社会状況、本市の特



市民一人ひとりの肌にくみぬける市政  
市民生活の中にしつかり根をおろした市政

聴く市政・話す市政・そしてそれに応える市政

農業の振興に取り組み、農業動向調査を実施する。また、休耕田復元対策の予算を計上しました。海底のビニール類を引き続き掃海し離岸堤は、引き続き促進し、同時に漁業不振の対策を考えます。

北部山地は、北山対策委員会などを設置し検討します。商店街の再編などについては基本計画をたて適切な処置をとります。

### 市民総ぐるみの運動を

### 同和行政

地方自治の基本は住民すべての生活と権利を守ることであり保障することです。全市民に対し同和問題の本質がなにかを正しく認識させ一日も早くこのよう

## 全力をあげて解決

### 空港

公聴会後の七月十日すべての手続きは完了したとして決定告示が出され、ますます重大な段階に入りました。国県は時代の流れとして、住民の願いとは反対に一方的

に拡張をすすめるようとしています。時代の要求と地域住民の要望との間の大矛盾を全力をあげて解決するつもりです。



不平等がなくなるよう、市民総ぐるみの運動をはじめたいと思えます。本年度も特別措置法に基づく事業費四億四千三百万有餘円を計上し、引き続き環境整備、住宅用地の購入、農業振興事業を実施します。